

「賛美の力」 一先週の講壇より

「真夜中ごろ、パウロとシラスとは、神に祈り、さんびを歌いつづけたが、囚人たちは耳をすまして聞きいっていた。」使徒16:25【口語訳】

当教会のチャーターメンバーである故〇姉妹、46年前にスタートしたこの教会は、最初は〇姉のご自宅ではじましたものでした。〇姉はいわゆる戦後一世、アメリカ人ジョージさんの家に嫁いで来た戦後花嫁でした。当時でも都会であった東京の出身であった〇姉にとって、嫁ぎ先のウサギ農家の生活は何とも厳しいものだったでしょう。実際、当時はその周囲は牛小屋だけが広がる場所で、都会育ちの〇姉の心には何とも言えない孤独があったといいます。そんな〇姉が、姑さんたちに連れられて行ったのがLAホーリネス教会でした。そこでは一世のご婦人たち温かく〇姉を迎えてくれました。そして一世のご婦人たちと共に古い聖歌を元気よく歌い、その賛美にどれだけ励まされたかわからないと、そのように〇姉はたびたび私にお話ししてくれました。そんなことを懐かしく思い出しています。

賛美は力！獄中のパウロやシラスを励まし、信仰の先輩方を勇気づけ、立ち上がらせた賛美の力。それは今も私たちを活かし、励まし、導く力となるのです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《主の祈り》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わせず、惡より救い出し給え。國と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《使徒信条》。

私は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。私はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより來たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。私は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英國で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2023年8月20日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

「私はこの岩の上に私の教会を建てよう。陰府の門もこれに打ち勝つことはない。
私はあなたに天の国の鍵を授ける。」

マタイ16:18, 19

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20



礼拝は短縮して持たれています。

礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラスなどは、現在休止しています。